

西光寺だより

第九十三号 平成三〇年五月一日発行

●今月のことば●

うさぎの せなかに

ゆきふるように

たんぽぽ わたげが

そらとぶように

こだまが たにまに

きえさるように

ひみつを みみに

ささやくように

唐突ではございますが、皆様この詩をご存じでしょうか。知っておられる方もいらつしやるかと思いますが、横の詩に四角で空欄になっている部分には、同じような言葉が入ります。それは、ふわりふわりとか、ゆつくりゆつくりといった意味合いの言葉で、全て同じ言葉が入ります。さて、何という言葉が入るでしょうか。答え合わせは二枚目に用意してありますので、しばしの間考えてみて下さい。

◆先月の報告◆

四月二十一日（土）西光寺太鼓楼にて西光寺講役員会を行いました。五月の総会にむけて皆様と審議いたしました。会計報告、西光寺行事報告を確認し、平成三〇年度新役員を発表させていただきました。

この度、長い間総代として活躍いただきました寺田一雄様、吉田紀夫様。健康上の都合によりお役を退かれることとなりました。まだまだしていただきたいと思っておりましただけに、残念な思いでございます。

平成十一年前講長毎川健三様、本堂修復・落慶法要と大役をつとめていただきました。その後、平成二十一年十月に毎川健三様、十二月に前住職と往生され、突然のこと西光寺にとりまして一番大変な時に講長をお受けいただきました寺田様、吉田様。西光寺のため、若い住職の陰になり日向になり、支えていただきましたこと大きな力でありました。

これからは西光寺講顧問として見守っていただけることに大変心強い思いでございます。本当にありがとうございます。



◆五・六月の行事◆

・五月 十三日(日)

西光寺講総会

午後七時～

西光寺本堂

*讚仏偈のお勤めをしますので、経本・念珠をご持参下さい。

・五月 二十日(日)・二十一日(月)

宗祖降誕会

親鸞聖人がご誕生になられたことをお祝い申し上げる法要であります。是非お時間のある方は京都西本願寺にお参り致しましょう。

京都西本願寺

・六月 四日(月)～五日(火)

茨木東組聖跡巡拝バス旅行 北陸・山代温泉

*締切は五月末です。費用は三〇〇〇〇円です。

申込用紙は西光寺まで。

さて、一枚目のクイズの答え合わせです。

四角の空欄には「そうと」という言葉が入ります。

「そつと」という言葉が入ります。

この詩は谷川俊太郎の『そつとうた』という詩です。全てに同じ意味の言葉が入り、やさしくその時々情景がうかび上がるような詩であります。

「そうと、そつと」という響きのみならず、ひらがなで書かれたその文字からもやわらかな感情が伝わってきそうです。

私たちが良く使う仏様や命などの言葉をひらがなで書くだけでも、ほとけさま・いのちというようにやさしい言葉に一層変わっていきます。日本の文字は、書き手の感情までも表わしてくれる素晴らしいものですね。

お釈迦さまやその他の高僧も書物という文字に残して後世に大切なほとけさまのこと・いのちの尊さのことを伝えて下さっています。

浄土真宗をひらかれた親鸞聖人も数々の書物を残され、今なお私たちに伝え続けて下さっています。そして、親鸞聖人は私たちにも理解できるように『海』や『水』といった表現で示されています。そこにはどうしても伝えなければいけないという心情が伺えることでもあります。

伝え続けられる書物の足元にも及びませんが、西光寺だよりもその一文字一文字にやさしさと温かみをもって、大切な皆様方に伝え続けていきたいと思っております。

合掌



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>